

高校生が描く知立の未来 高校生議会



高校生議会とは？

選挙年齢の引き下げにより、政治や選挙が身近なものとなった高校生に、議会活動を体験してもらい、地方自治への関心を高めてもらうとともに、高校生の視点から広くまちづくりについて意見を聴き協議する機会を設けるために行っています。

STEP 1 事前協議

知立市に求める政策、解決したい課題など、高校生の視点で問題点・課題を洗い出し、テーマを設けて、事前に議員と意見交換を行い、高校生の提案として形にしていきました。



STEP 2 議会当日 第1部

事前協議を経て、高校生が調査・研究を進めていき、4つのグループがそれぞれのテーマで政策提案を行いました。

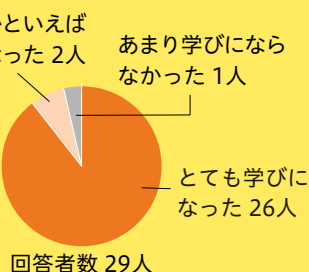
STEP 3 議会当日 第2部

第1部での政策提案についてグループディスカッションを行いました。法政大学法学部土山希美枝教授をアドバイザーとして迎え、各グループの政策提案について意見交換を行いました。意見交換後、土山教授より講評をいただきました。

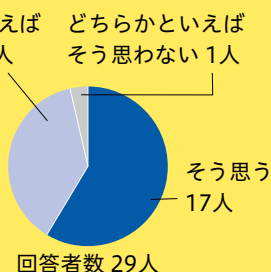


参加した
高校生の声

Q. 高校生議会に取り組んだことは学びになりましたか。



Q. 社会をよりよくするために、社会問題に関与したいと思いましたか。



知立高校

知立東高校

山本学園

のみなさんと！

高校生たちの想い

知立高校

SNSを活用した知立市の知名度向上

知立市は知名度が低く、観光客が少ない。特に、国内外で利用者が多いSNSを十分に活用できておらず、情報発信の工夫が不足している。

市公式SNSの発信内容を見直し、写真を中心とした分かりやすい投稿や、文章を簡潔にした情報発信を行う。あわせて、ハッシュタグの活用や参加型のキャンペーン等を実施することで、市外への情報拡散を促す。これにより、知立市の魅力が伝わりやすくなり、観光客の増加や地域の認知度向上につながる。

ハッシュタグ：SNSで「#」記号の後に続くキーワード(例：#旅行、#グルメ)により、投稿を分類・検索しやすくする機能

山本学園

誰もが気軽に集まれるまちづくり

駅周辺には人が集まれる場所があるものの、雨や暑さ寒さへの対応が十分でなく、長く滞在しにくい状況にある。

ちりゅっぴの庭に屋根を設け、座ることや遊ぶことができる設備を整備する。親子連れや駅利用者が安心して過ごせる空間をつくることで、人が集まりやすくなり、将来的には幅広い世代の交流につながる。

知立高校

学びを支えるクラウドファンディングの活用

知立市では地域活性化に向けた取り組みが行われている一方、学習活動を支援するための新たな資金調達の仕組みが十分に活用されていない。

教育分野でクラウドファンディングを導入し、校外学習や生徒主体の活動、学習環境の整備などに活用する。子どもたちの主体的な学びや社会参加が進み、将来の知立市を支える人材育成と地域の活性化につながる。

クラウドファンディング：事業の目的に共感した方から、インターネットを通じて支援を募る仕組み。

知立東高校

ちびっこ川柳で世代間交流を

世代間の交流が少なく、まち全体で笑顔やつながりを感じる機会が限られている。

市内小学校から一校を選び、各学年の川柳作品を選出し、駅やバス車内に掲示する取り組みを定期的に行う。子どもたちの素直な感性に触れることで、笑いや共感が生まれ、世代を超えた交流のきっかけとなり、まちの雰囲気明るくなる。

他の高校生と交流できたことが学びになった。

普段では体験できない貴重な体験をすることができた。市民アンケートなど自分ができることは少しでも参加していこうと思った。



とても楽しかったです！特にグループディスカッションで議員の方々とお話できたのはとても良い経験になった！

他の人と話すことで自分になかった視点を得られた。